

# 抗がん剤プロトコール 届け票

申請日	2020年 7月 10日																																											
申請者	所属科:外科	医師名: 山中 千尋																																										
<b>抗がん剤プロトコール内容</b>																																												
略名	nab-IRI+5-FU/LV																																											
適応臓器名	がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な膵癌																																											
薬剤名	オニバイド (一般名: イリノテカン リポソーム製剤) レボホリナート(一般名:レボホリナート) フルオロウラシル (一般名:フルオロフラシル)																																											
注意点	薬剤の注意点を遵守すること。																																											
<b>用法・用量・投与スケジュール</b>																																												
2週1サイクルとして繰り返す。																																												
<b>day1</b>																																												
前投薬: 5HT <sub>3</sub> 拮抗剤+ホスアプレピタント (プロモド) +デキサメタゾン を 30分で投与																																												
オニバイド 70mg/m <sup>2</sup> を 90分かけて投与。																																												
レボホリナート 200mg/m <sup>2</sup> を 2時間で投与。																																												
フルオロウラシル 2400mg/m <sup>2</sup> を 46時間持続点滴																																												
<p><b>投与可能条件</b> 投与予定日に確認し、当該条件を満たす状態へ回復するまで投与を延期する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">種類</th> <th style="width: 70%;">程度<sup>注1)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>好中球数</td> <td>1,500/mm<sup>3</sup>以上</td> </tr> <tr> <td>発熱性好中球減少症</td> <td>好中球数1,500/mm<sup>3</sup>以上かつ感染症から回復していること</td> </tr> <tr> <td>血小板数</td> <td>100,000/mm<sup>3</sup>以上</td> </tr> <tr> <td>下痢</td> <td>Grade1又はベースライン</td> </tr> <tr> <td>その他の副作用<sup>注2)</sup></td> <td>Grade1又はベースライン</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) GradeはCTCAE version 4.0に準じる。 注2) 無力症及びGrade3の食欲減退を除く。</p>				種類	程度 <sup>注1)</sup>	好中球数	1,500/mm <sup>3</sup> 以上	発熱性好中球減少症	好中球数1,500/mm <sup>3</sup> 以上かつ感染症から回復していること	血小板数	100,000/mm <sup>3</sup> 以上	下痢	Grade1又はベースライン	その他の副作用 <sup>注2)</sup>	Grade1又はベースライン																													
種類	程度 <sup>注1)</sup>																																											
好中球数	1,500/mm <sup>3</sup> 以上																																											
発熱性好中球減少症	好中球数1,500/mm <sup>3</sup> 以上かつ感染症から回復していること																																											
血小板数	100,000/mm <sup>3</sup> 以上																																											
下痢	Grade1又はベースライン																																											
その他の副作用 <sup>注2)</sup>	Grade1又はベースライン																																											
<p><b>投与再開時の減量基準</b> 前回の投与後に以下のいずれかの程度に該当する副作用が発現した場合は、該当するごとに、以下の減量方法に従って減量する(「減量時の投与量」を参考にすること)。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">副作用</th> <th style="width: 20%;">程度<sup>注1)</sup></th> <th style="width: 60%;">減量方法<sup>注2)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>好中球減少</td> <td>Grade3以上又は発熱性好中球減少症</td> <td rowspan="3">本剤及びフルオロウラシルを1段階減量する</td> </tr> <tr> <td>白血球減少</td> <td rowspan="2">Grade3以上</td> </tr> <tr> <td>血小板減少</td> </tr> <tr> <td>下痢</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>悪心/嘔吐</td> <td>Grade3以上<sup>注3)</sup></td> <td>本剤を1段階減量する</td> </tr> <tr> <td>その他<sup>注4)</sup></td> <td>Grade3以上</td> <td>本剤及びフルオロウラシルを1段階減量する</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) GradeはCTCAE version 4.0に準じる。 注2) レボホリナートは減量しないことが望ましい。 注3) 適切な制吐療法にもかかわらず発現した場合。 注4) 無力症及び食欲減退を除く。</p> <p><b>減量時の投与量</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2" style="text-align: center;">本剤 (イリノテカンとして)</th> <th rowspan="2">フルオロウラシル</th> </tr> <tr> <th style="width: 25%;">開始用量</th> <th style="width: 25%;">1段階減量</th> <th style="width: 25%;">2段階減量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開始用量</td> <td>70mg/m<sup>2</sup></td> <td>50mg/m<sup>2</sup></td> <td>2,400mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>1段階減量</td> <td>50mg/m<sup>2</sup></td> <td>43mg/m<sup>2</sup></td> <td>1,800mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>2段階減量</td> <td>43mg/m<sup>2</sup></td> <td>35mg/m<sup>2</sup></td> <td>1,350mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>3段階減量</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>				副作用	程度 <sup>注1)</sup>	減量方法 <sup>注2)</sup>	好中球減少	Grade3以上又は発熱性好中球減少症	本剤及びフルオロウラシルを1段階減量する	白血球減少	Grade3以上	血小板減少	下痢			悪心/嘔吐	Grade3以上 <sup>注3)</sup>	本剤を1段階減量する	その他 <sup>注4)</sup>	Grade3以上	本剤及びフルオロウラシルを1段階減量する		本剤 (イリノテカンとして)		フルオロウラシル	開始用量	1段階減量	2段階減量	開始用量	70mg/m <sup>2</sup>	50mg/m <sup>2</sup>	2,400mg/m <sup>2</sup>	1段階減量	50mg/m <sup>2</sup>	43mg/m <sup>2</sup>	1,800mg/m <sup>2</sup>	2段階減量	43mg/m <sup>2</sup>	35mg/m <sup>2</sup>	1,350mg/m <sup>2</sup>	3段階減量	中止	中止	中止
副作用	程度 <sup>注1)</sup>	減量方法 <sup>注2)</sup>																																										
好中球減少	Grade3以上又は発熱性好中球減少症	本剤及びフルオロウラシルを1段階減量する																																										
白血球減少	Grade3以上																																											
血小板減少																																												
下痢																																												
悪心/嘔吐	Grade3以上 <sup>注3)</sup>	本剤を1段階減量する																																										
その他 <sup>注4)</sup>	Grade3以上	本剤及びフルオロウラシルを1段階減量する																																										
	本剤 (イリノテカンとして)		フルオロウラシル																																									
	開始用量	1段階減量		2段階減量																																								
開始用量	70mg/m <sup>2</sup>	50mg/m <sup>2</sup>	2,400mg/m <sup>2</sup>																																									
1段階減量	50mg/m <sup>2</sup>	43mg/m <sup>2</sup>	1,800mg/m <sup>2</sup>																																									
2段階減量	43mg/m <sup>2</sup>	35mg/m <sup>2</sup>	1,350mg/m <sup>2</sup>																																									
3段階減量	中止	中止	中止																																									
Evidence	オニバイド適正使用ガイド オニバイド添付文書																																											
備考	可能な限り UGT1A1 の遺伝子検査を実施する。																																											
がん化学療法委員会承認日: 2020年 月 日																																												